

平野中だより

令和4年6月1日



＜学校教育目標＞ ともに学び 挑み 夢を語る生徒

蓮田市立平野中学校 TEL048-766-9003

ホームページ <http://hiranojhs.o.oo7.jp>

Eメール j-hirano.hasuda@nifty.com 心のホット相談室 TEL&FAX 766-9393



「合わせる」

校長

6月：水無月となりました。令和4年度も2ヶ月が過ぎました。今月は、体育祭、生徒総会、期末テストがあり、生徒のみなさんが力を発揮することで、自分の力、学級、学校の力、方向が示されます。この6月を私は「合わせる月」として、みなさんに過ごしていただきたい。「合わせる」には次のような意味があります。

- * 「合うようにする」
- * 「協力する」
- * 「整える」
- * 「別のものを加える」

具体的
には

- △ 1つ以上のものをつけて1つにする。
- △ 心や力などをまとめて1つにする。
- △ 調和させる。
- △ 正しいかどうか、他と比べてみる。(照合)
- △ 対抗させる、戦わせる。

体育祭、生徒総会、期末テストそれぞれ、個人の力で「合わせる」のか集団の力で「合わせる」のか。例えば期末テスト。試験範囲を復習した上で、問題を解く。正解と合わせてみて理解度をみる。生徒総会。各専門委員会や部活動からの予算や取組計画を提案してもらい、審議し承認してもらう。そのためには生徒の考え(心)、やる気(力)を合わせて話し合いをする。体育祭。これはいうまでもなくわかりますね。

私が好きな日本を代表する実業家、現在日本航空名誉会長の稲盛和夫氏は、このようなことを述べていらっしゃいます。



<稲盛 和夫 氏>

~~~~~『ベクトル(方向)を合わせる』(一部抜粋)~~~~~

○人間にはそれぞれさまざまな考え方があります。もし社員一人一人がバラバラな考え方に従って行動したらどうなるでしょうか。このことは野球やサッカーなどの団体競技を見ればよくわかります。全員が勝利に向かって心をつにしているチームと、各人が「個人タイトル」という目標にしか向いていないチームとでは、力の差は歴然としています。全員の力が同じ方向に結集したとき、何倍もの力となって驚くような成果を生み出します。1+1が5にも10にも・・・

今月は、ぜひ「合わせる」ことにポイントをおいて生活をしてみましょう。

## ♪ 今月の歌

あめふり

あめあめ ふれふれ

かあさんが じゃのめ

おむかい うれしいな

※ピッチピッチ

チャップチャップ

ランランラン

かあさん ぼくのを

かしましよ かきみきみ

このかさ さしたまえ

※くりかえし

ぼくなら いいんだ

かあさんのおおきな

じゃのめにはいつてく

※くりかえし

作詞 北原 白秋

作曲 中山 晋平

### 【曲について】

○じゃのめとは「蛇の目傘」のこと  
で、江戸時代から使われ、紙製の傘。  
1925 (大正15年) に発表。今回は一番、  
四番、五番を掲載。

